

2020학년도 전기		외 국 어 시 험 문 제			(과목명 :일어, 전계열)	A형	
석사·박사·통합 과정	학과	전공	학 번		성 명		

1. 다음 문장을 읽고 아래의 각 물음에 답하시오(총점 50점).

① 「国家および国民の運命が危機にひんしている時は、紳士は他人の手紙も盗み読むものである」。こう書いたのは米ソ冷戦の初期から米C I Aを率いて、海千山千の情報機関に育てあげたアレン・ダレスだ。② 「紳士は……」とあるのは、1929年当時の国務長官スティムソンの言葉を皮肉ったことだ。③スティムソンは「紳士は他人の信書の盗み読みはしない」と言って、米国が行っていた他の国の外交公電の暗号解読を中止させたのだ。④米国も第二次大戦で覇権国家として登場する前は、情報の世界でもずいぶん純朴なところがあったようである。⑤ただこの一件では解雇された暗号専門家が、軍縮会議での日本の外交暗号を解読していたと暴露して日米で一騒ぎあった。こちらは冷戦期からつい最近までの話だ。⑥C I Aと西独情報機関がスイスの暗号機器製造会社を秘密裏に買収、その製品を用いていた同盟国を含む各国の通信を解読していたという。⑦機器は米独が解読できるよう手が加えられていた。日本も含む約120カ国に売られたこの機器、肝心のソ連や中国は用いていない。⑧敵も同盟も関係ない仁義なき盗み読みである。中国通信大手ファーウェイの機器に対し米国が主張する情報窃取の「裏口」疑惑を思い出す方もいよう。⑨情報機器の製造段階から仕込んだペテンの先達としては、裏口はない方がおかしいと見たのか。⑩今時、米国の情報機関を紳士と思う方はいますが、紳士でいるにも周到な目配りとしたたかさが欠かせない現代だ。

1. ①을 한국어로 옮기시오(배점 5점).
2. ②를 한국어로 옮기시오(배점 5점).
3. ③을 한국어로 옮기시오(배점 5점).
4. ④를 한국어로 옮기시오(배점 5점).
5. ⑤를 한국어로 옮기시오(배점 5점).
6. ⑥을 한국어로 옮기시오(배점 5점).
7. ⑦을 한국어로 옮기시오(배점 5점).
8. ⑧을 한국어로 옮기시오(배점 5점).
9. ⑨를 한국어로 옮기시오(배점 5점).
10. ⑩을 한국어로 옮기시오(배점 5점).

2020학년도 전기		외 국 어 시 험 문 제			(과목명 :일어, 전계열)		B형	
석사·박사·통합 과정	학과	전공	학 번		성 명			
<div>植民地主義</div> <p>스페인による南北アメリカ大陸の植民地化は、1492年のクリストファー・コロンブスの航海から始まった。その約100年後、イギリスの商人と宗教難民が新大陸にやってきた。しかし、ヨーロッパによる植民地化の時代は17世紀では終わらず、アメリカだけにとどまるものでもなかった。イギリスの商人や植民地開拓者たちは、大航海時代に地球上を駆け巡り、インドや中国、太平洋の島々に新たな入植地を建設した。</p> <p style="text-align: center;">* * * *</p> <p>19世紀後半、ヨーロッパ列強は、アフリカを「発見」した。わずか数十年のあいだに、ヨーロッパの主要諸国はアフリカを分割して現地の住民を植民地支配の下に置いた。フランスは、西アフリカの大部分を占領した。イギリスは、南アフリカと、アフリカ東沿岸部の大半を支配した。それ以外の地域では、ドイツ、ポルトガル、ベルギーが支配権を主張した。</p> <p>ヨーロッパ植民地帝国の夢をかき立てていたのは、飽くなき欲望と、西洋文明を広げたいという欲求だった。鉄道など新たなテクノロジーを備えて広大なアフリカを統制しやすくなった西洋諸国は、アフリカの資源を利用し始めた。(a)<u>アフリカの住民にとって、ヨーロッパ人の到来は大災厄以外の何物でもなかった。多くのヨーロッパ人は、アフリカの黒人を人間とも思わず、アフリカの人々を大量に殺戮した。</u>1902年の有名な小説『闇の奥』で著者ジョーゼフ・コンラッドは、植民地主義によって、文明人であるはずのヨーロッパ人が怪物に変わり、現地のアフリカ人を搾取・殺害している実状を描いた。地域によっては数百万人が死んだ場所もある。ベルギー領コンゴでは、1000万人が死ぬまで働かされたと推計されている。ドイツ領南西アフリカでは、地元住民が植民地支配に抵抗したため、住民全員が皆殺しの標的になった。ヨーロッパ諸国は、第二次世界大戦後に【①】アフリカの植民地支配を断念したが、その時点でアフリカは分断と貧困に苦しむ大陸い変わっていた。</p> <div>ポストコロニアリズム</div> <p>ポストコロニアリズム文学とは、旧植民地出身の作家が書いた作品と、そうした地域出身の人々について書かれた作品とを指す。この文学の大半は、アフリカやアジア、ラテン・アメリカ、およびカリブ海地域にあったヨーロッパの主要な植民地がすべて独立を獲得した1950年代から1960年代以降に書かれたものである。</p> <p style="text-align: center;">* * * *</p> <p>(b)<u>ヨーロッパ帝国主義の最盛期だった19世紀後半、ヨーロッパ人作家たちは、自国の世界支配を褒めたたえ、未開人を文明化するという、いわゆる「白人の責務」をうたい上げる傾向が強かった。</u>その先頭に立つのがイギリス人作家ラドヤード・ギブリングで、彼はしばしば、明らかに人種差別的な詩や小説を書いている。しかし徐々に、【②】ジョーゼフ・コンラッドの『闇の奥』(1899年)やE・M・フォースターの『インドへの道』(1924年)などの作品が、ヨーロッパの植民活動に批判的な目を投げかけるようになっていった。</p> <p>第二次世界大戦後にアジアとアフリカで植民地解放が進むと、新たに独立した地域の作家たちは、植民地化が文化や社会や人々の心に残した影響を記録し始めた。(c)<u>そうした作家の多くは、人種・民族・国民意識の問題に取り組んだ。</u>また彼らは、ヨーロッパが現地の民族分布を無視して人為的に国境を引いたために引き起こされた政治的・宗教的対立も考察した。批評家たちからは、ポストコロニアリズムの作品は「他者」という概念に焦点を当てることが多いとの指摘がある。この「他者」の概念は、評論家エドワード・サイードが、西洋人は東洋を一方的に異質なものと見なす傾向があると論じた画期的な著書『オリエンタリズム』(1978年)で明らかにしたことで知られている考えである。</p> <p>ポストコロニアリズムは、多くの地域や作家を含んだ広範囲にわたる運動だ。1980年代後半以降は、新世代のポストコロニアリズム作家が登場し、同じテーマの多くを新たな視点から描いている。そうした作品の大多数は、イギリスやアメリカに住む非西洋圏出身の移民に焦点を当てている。(d)<u>彼らは一般に、同じポストコロニアリズムでも、苦悩することが多かった前の世代よりも楽観的で、出身地から引き離された移民の状況を現代世界の現実として受け入れ、その肯定的な側面やコミカルな面を取り上げている。</u></p> <div>1. 본문 중 밑줄(a) 부분을 한국어로 번역하시오. (10점)</div> <div>2. 본문 중 밑줄(b) 부분을 한국어로 번역하시오. (10점)</div> <div>3. 본문 중 밑줄(c) 부분을 한국어로 번역하시오. (10점)</div> <div>4. 본문 중 밑줄(d) 부분을 한국어로 번역하시오. (10점)</div> <div>5. 【①】에 들어갈 적당한 단어를 선택하시오. (5점)</div> <div>a.ようやく b.それほど c.そして d.況や</div> <div>6. 【②】에 들어갈 적당한 단어를 선택하시오. (5점)</div> <div>a.しかも b.どころに c.今まで d.例えば</div>								